

中期経営計画 第二次計画

(2021年度～2024年度)

共栄社化学株式会社

- 2020年度売上高は世界的な景気低迷の影響を受け2017年度比10%の減少となりました
- この業績に至った真の要因は、新規市場・新規顧客の開拓、新製品・新規事業開発の遅れにありました
- その中でも環境汚染物質を発生させない新熱硬化システムの事業化を目指し「新硬化システム事業化推進室」を立ち上げました。専任の研究員7名を投入し開発に取り組んでいます

- 革新を起こすための最適組織体制を検討し、組織の再編成を実施しました
- 経営基盤の更なる強化として、基幹システムの再構築と滋賀工場に第二製造所棟の建設を実施しました

第二次計画のあるべき姿

- あらゆるステークホルダーから信頼を得て、ステークホルダーと「共存共栄」する企業

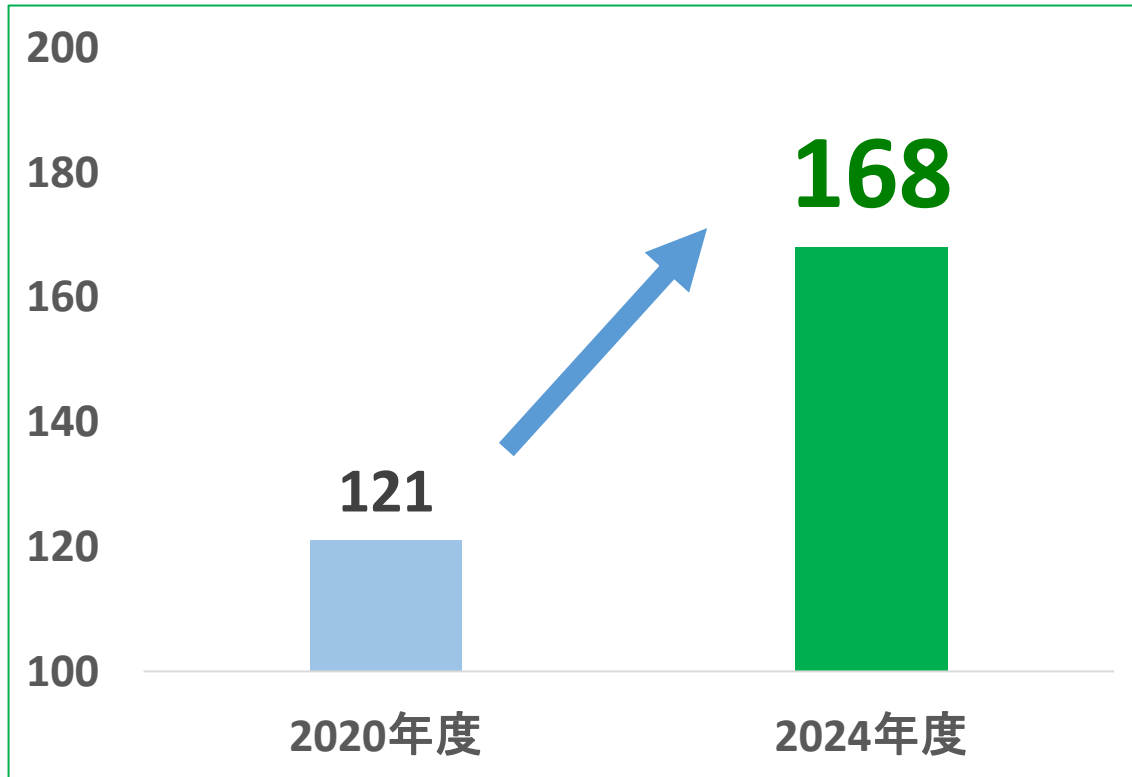
- 常にチャレンジする社風の確立
 - ☆ ヤル気に溢れた企業と社員
 - ☆ 変化に対し柔軟で且つスピード感を持って対応する企業と社員

以上を創業120周年である2024年度のあるべき姿として、2021年度から2024年度の4年間を実行期間とする中期経営計画第二次計画を策定しました

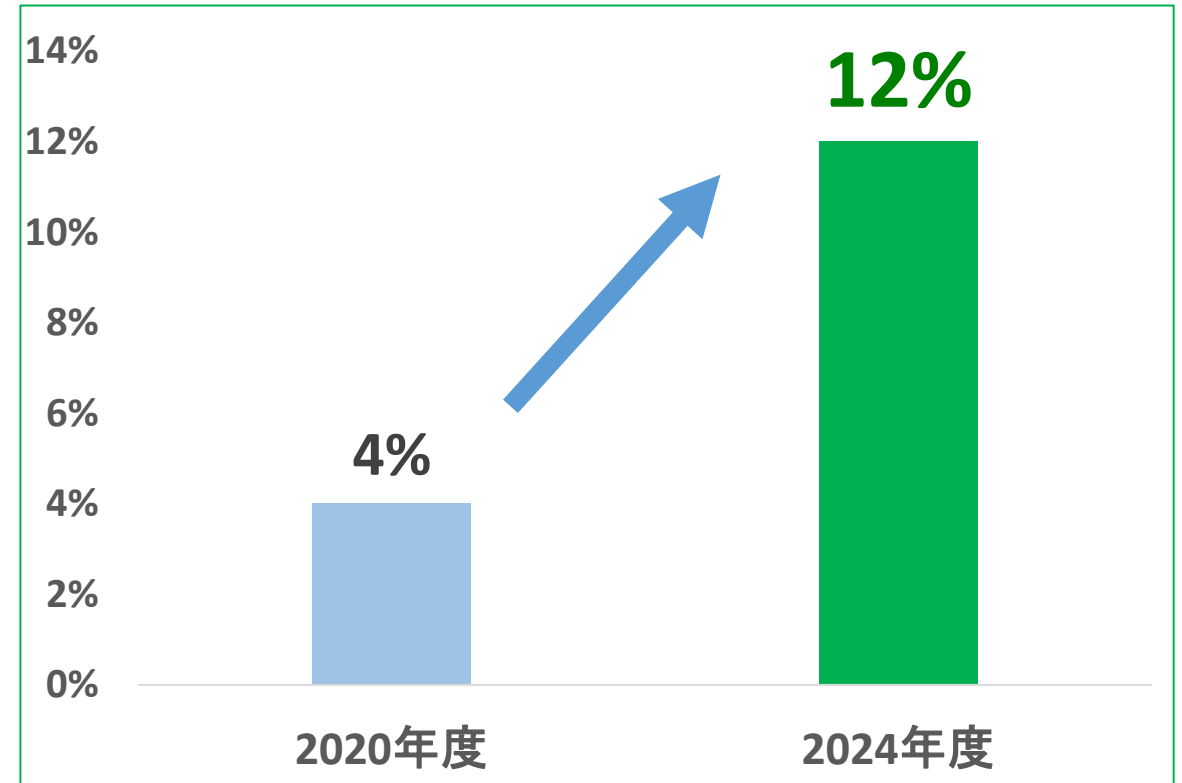
第二次計画の数値目標

2024年度売上高168億円 営業利益率12% EBITDA16, 5%

売上高(億円)



営業利益率



- マーケティング力を強化し、市場及び顧客情報を全社で共有する仕組みを作り、顧客に新たな価値を提供します

- 成長市場として下記市場に注力
 - ① 電子材料市場
 - ② 通信市場
 - ③ メディカル市場
 - ④ 化粧品市場
 - ⑤ 農薬市場
 - ⑥ SDGs市場（リサイクル、剥離、脱墨剤等）

- 製品情報を全社で共有し、他業種のお客様にも的確な製品を提案できる仕組みを作ります

- 差別化の効いた独自性のある製品開発に特化
 - ① 界面活性剤 : 剥離剤、抗菌剤
 - ② ポリマー : 親水・生体適合性ポリマー、抗菌性ポリマー、電気刺激性ポリマー
 - ③ LDH(層状複水酸化物) : ヘルスケア市場、通信市場、環境市場

- 全員参加の改善提案制度の推進
- 生産性向上のための取り組み
 - ① 人材育成
多能工化
 - ② 生産性の向上
蒸留設備の自動化
生産工程の効率化
IT化、スマート工場

重点施策 SDGsへの取り組み ①



すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する
→ 臓器モデルの展開
3Dプリンターで作成された心臓モデルによる、心臓手術の精度向上

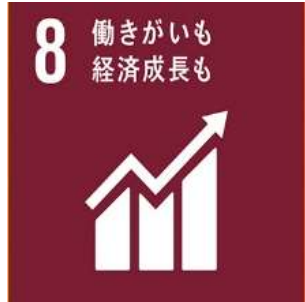


安全な水とトイレを世界中に
すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する
→ ろ過膜の洗浄
海水の淡水化や下水処理などに用いられるろ過膜の洗浄や機能回復に貢献する



エネルギーをみんなにそしてクリーンに
すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへ
→ 新熱硬化システム
低温で硬化し、シックハウス物質の放出がなく皮膚刺激性の強い薬品の使用もない
環境と人にやさしい熱硬化システムの提案

重点施策 SDGsへの取り組み ②



働き甲斐も経済成長も

すべての人々に完全かつ生産的な雇用と、働き甲斐のある仕事を促進する

→ 子育てサポート企業『くるみん認定』の実現

育児制度内容を男性社員にも理解浸透させ、次世代育成支援対策推進法のもと、子育てサポート企業を目指す



つくる責任 使う責任

持続可能な消費と生産のパターンを確保する

→ プラスチックごみ削減の取り組み

複層包装容器や産業資材の剥離技術によるリサイクルの推進